

専修大学大学院 経済学研究科経済学専攻 教員紹介

氏 名	田中 隆之 教授
校舎・コース	神田校舎・プロフェッショナルコース、エコノミックリサーチコース
専修科目	経済政策
担当科目	経済政策特論Ⅰ・Ⅱ（金融政策論Ⅰ、金融政策論Ⅱ） 研究論文指導 金融政策論Ⅰ・Ⅱ（マネタリー政策、プルーデンス政策） 研究論文指導Ⅰ・Ⅱ
研究テーマ	日米欧金融政策の展開、バブル後低成長下の日本経済
研究指導領域	・金融政策（マネタリー政策、プルーデンス政策） ・日本経済のマクロ的、および構造的変遷とその特徴
志願者へのメッセージ	日本経済は、バブル崩壊後、ほぼ年平均 1%の低い成長率をかれこれ 30 年も続けています。2008 年の世界金融危機や 2020 年のコロナ危機を経た現在、労働生産性が上がらず、潜在成長率が低いままという状況は変わっていません。私は、その要因を、成長や物価、国際収支・為替レート、財政金融政策などのマクロ経済面から、また企業・産業や雇用、財政・社会保障、金融システムなどの経済構造面から、解明して行こうと努めています。 一方、日銀は、低成長下で非伝統的金融政策を長期にわたって継続してきました。とりわけ 2013 年からは、アベノミクスの「第一の矢」として量的・質的金融緩和に踏み込み、「マイナス金利政策」や「長短金利操作」も導入しました。私は、これら一連の政策の効果や副作用を検証し、今後どのような金融政策が望ましいのかの究明にも取り組んでいます。 大学院での担当科目としては、後者に関わる金融政策論を展開しています。
研究者情報システムリンク	所属学会や学会発表、論文・著書などより詳細な情報は以下のリンクからご確認ください。 研究者情報システム 田中 隆之教授ページ